



南赤塚小



野木小



友沼小



野木二中



新橋小

野木町の教育

人間性 豊かになり 人間性

十の心を育てます

- 1 心身ともに健全で向上心に富む、健康な体と心を育てます。
- 2 素直な心情を備え、誰とでも仲良く出来る優しい心を育てます。
- 3 探究心にあふれ真理の追究を怠らない、積極的な向学心を育てます。
- 4 最後まで貫徹する強い意志を持ち、粘り強くやり遂げる心を育てます。
- 5 規則を守り明るいあいさつを欠かさない、礼儀正しい心を育てます。
- 6 個性を尊重し創造性に満ちた、情操豊かな心を育てます。
- 7 家庭内及び学校や社会に貢献し、協力する心を育てます。
- 8 命を大切にし、弱い立場の人々に寄り添える心を育てます。
- 9 郷土である野木町を愛し、歴史や文化を探求する心を育てます。
- 10 世界的な広い視野を持ち、進んで異文化を吸収する心を育てます。



佐川野小



野木中



1. 幼保小中の連続した教育の場づくり

○幼稚園、保育園と小学校の相互授業参観をしています



1年生の授業参観



年長児の保育参観

異なる学校、園での様子を相互参観することで、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点で相互理解を深めています。

○小学校教員と中学校教員の交流授業を実施しています



中学校教諭による社会科の授業実践



研究授業参観及び研究会への異校種の先生方の参加



小学校と中学校の先生が終日の異校種の交流授業を行っています。異校種においてT1として授業を行うことで指導力を高めています。

また、他校の研究授業参観及び授業研究会に参加し、学力向上をテーマに話し合い、町全体の学力向上を推進しています。

○幼保小連絡協議会による研修会や情報交換会を実施しています

小学校生活がゆるやかにスタートできるように入学直後の5月上旬と卒園間近の2月下旬に情報交換を行っています。



幼保小の先生方が合同で研修会を開き、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸に、架け橋期のカリキュラムについての話し合いを進めています。



2. 地域とともにある学校づくり



○全小学校、中学校がコミュニティ・スクールです



分館主催で「七歳合同祝い」を小学校で実施し、地域でお祝いしています。



中学校区協議会でスローガンを決め、地域で子どもを育てています。

野木中学区「響き合う心」
野木二中学区「夢」



友沼小学校と佐川野小学校では地域コミュニティ運動会を実施しています。

3. グローバル化に対応する環境づくり



○ICTを活用して英語教育を実施しています

小学校は ALT との対一でのオンライン会話、中学校ではオーストラリアの中学生とのグループ対話をオンラインで実施しています。



町の英語力向上推進リーダーが各校を巡回し英語指導の充実を図っています。



4. 自然や産業を生かした体験活動の場づくり



○食農教育を実践しています

生きるために必要な「食」と生産する農業「農」を体験を通し五感で捉える学習「食農教育」を総合的な学習の時間で実施しています。各教科の横断的な学習により、生産から流通までの学習を探究的な活動として進めています。



「PRのためのキャラクターをつくろう」
「校歌のピアノ BGM を流そう」
「値段はいくらにすればいいのか」
課題が見つかったら、みんなで話し合って解決をしています。



5. 読書に親しむ環境づくり



平成26年

「キラリと光る読書のまち野木」宣言

○平成16年度よりブックスタートを始めています



野木町に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に、すくすく育てほしいというメッセージを伝え、絵本をプレゼントしています。



○ブックプラスOne!を平成26年度から始めています



読書を通して豊かな心を育てるように平成26年度から新入生に本を1冊プレゼントしています。



家読(うちどく)を推進しています。家族で楽しく家読した感想をカードに書いて掲示しています。



6. 多様な学習環境づくり



体験活動の充実

地域の方を講師として様々な体験を行っています。



他校とつないだ教育

福井県の若狭町立野木小学校と学校間交流学习をしています。



佐川野小と友沼小のオンライン交流学习や那須町の学校との交流「NaNo ユニットプロジェクト」も推進しています。



特別支援教育の充実

オーターマイドの自立活動を実践しています。

